ブッシュクラフトを通して生きる知恵を身につける

ネイパル林間学校 ～ブッシュクラフト編～

ネイパル北見

1　事業のねらい

自然体験を通して、身近な自然環境の豊かさを認識するとともに、物事に対して臨機応変に対応する力を育む。

2　事業の概要

■期日　R6.9.21(土)～23(月)　２泊３日
■対象　小学３年生～中学生
■人数　22 名
■場所　ネイパル北見

3　プログラム

日時	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
1日目				集合 10：00～10：30	開会式	ブッシュクラフトって何？	昼食	A ブッシュクラフト ～ロープ編～ ロープワーク・ブルーシートシェルター・テント設営 etc.				A夕食（食堂食）	入浴	A就寝準備（テント泊）		就寝
								B ブッシュクラフト ～焚火編～ 薪拾い・火起こし・焚火 etc.				B夕食（野外飯）		B就寝準備（ネイパル泊）		
2日目	起床	朝食	Aテント片付け ロープワーク		ロープでブレスレットづくり		昼食	A ブッシュクラフト ～焚火編～ 薪拾い・火起こし・焚火 etc.				A夕食（野外飯）	入浴	A就寝準備（ネイパル泊）		就寝
			部屋点検	B 焚火 片付け				B ブッシュクラフト ～ロープ編～ ロープワーク・ブルーシートシェルター・テント設営 etc.				B夕食（食堂食）		B就寝準備（テント泊）		
3日目	起床	朝食	部屋点検	A 焚火 片付け	ふりかえり	閉会式	解散 12：00頃									
				Bテント片付け ロープワーク												

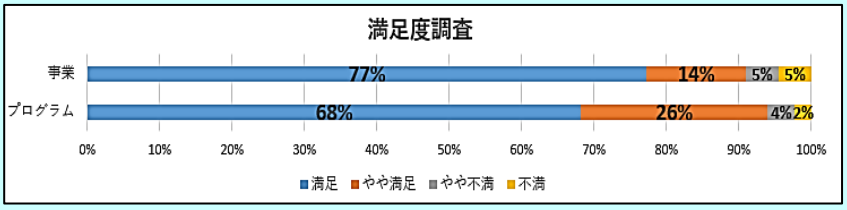
4　ねらいを達成するための活動の工夫

■職員の専門性を生かしたプログラム
・ブッシュクラフトアドバイザーやキャンプインストラクターなどの資格を持った職員が直接ロープワークや焚火の方法をレクチャーすることにより専門性の高い内容を学ぶことができるようにした。
■前後半に分かれて活動を実施
・参加者を２つのグループに分けて活動することで、それぞれの活動の体験人数を減らし、参加者全員に指導が届きやすいようにした。

学んだロープワークでテント設営

自分で起こした火で焚火飯

5　事業の評価



■参加者アンケートから、事業・プログラムともに 90%以上の肯定的な評価を得ることができた。
■ロープはいろいろなことができることが分かった。
■焚火やロープワークなど災害の時に役に立つ方法を学べた。

6　ねらいを踏まえた成果と課題

●実際にロープワークで学んだ結び方を、テント設営で使用するなどし、学んだ内容を臨機応変に活用する力を育むとともに学習内容の定着にもつなげることができた。
○専門性の高い活動に挑戦したが、参加者が成功するまでの時間に差が生まれ、早く成功した参加者が時間を持て余す様子が見られた。能力や学年差、進度に合わせて活動できるプログラムを用意する必要がある。

企画のポイント

資格を持った職員の指導による専門的な体験活動の提供